

5歳児健診のお知らせ

健診では、集団活動でのなじみにくさなどに、まわりの大人が早くから気づき、子どもの姿の理解を深めます。

まわりの大人が、長所や得意なことに着目しながら対応することで、子どもが自信をもって就学することをめざします。

だれが対象？

実施年度に満5歳
(4歳児クラス)に
なるお子さんです。

どこですの？

在籍の幼稚園や
保育所(園)などで
行います。

何をするの？

集団活動での姿と、
個別でお子さんとお
話をする様子を観察
します。

その後は？

お子さんが自分の
個性を生かして
力を発揮できる
サポートを行います。



※市内公私立幼稚園・保育所(園)・認定こども園に在籍されていない方については、市内公共機関で実施します。

保護者が安心して子育てのできる機会として鈴鹿市医師会や園と鈴鹿市が連携し、5歳児健診を実施しています。健診後の相談や支援も行っています。お気軽にご相談ください。

<問い合わせ先:鈴鹿市子ども家庭支援課 059-382-9030>

5歳児健診についてのQ & A

Q：「5歳児健診」は、どのようなことをするのですか？

A：問診票や健診当日の観察等を通して、お子さんの集団へのなじみにくさや苦手さに早く気づき、適切な支援を行うことを目的とする健診です。

集団活動と個別のやりとりの場面で、①大人からの働きかけを受け入れ、応じる力、②人とかかわる力、③ことばの発達、④運動の発達、⑤緊張や不安なく対応する力、の5つをポイントで、臨床心理士、教員、保育士、保健師等が観察します。

当日のお子さんの様子に加え、問診票の内容や日頃の保育の様子、乳幼児健診等の情報も含め、医師(園医)の監修を受け、結果をお伝えします。

☆結果票は、後日、保護者の方へ文書でお伝えします。

必要に応じて、保護者の方と面談も行います。

Q：なぜ5歳児クラスではなく、4歳児クラスの子どもが対象なのですか？

A：大きく2点あります。

【1】園生活を通して子どもの自信を深める支援を行うため

この時期は、就学までに約1年間あり、子どもの育ちにかかわる人たちが、適切な支援をしていくための期間を確保できます。

【2】子どもの発達段階に応じて

この時期の子どもたちは、友だちとのかかわりを求める時期であり、集団生活へのなじみにくさや苦手さに気づきやすくなるといわれています。

Q：健診を受けることで、発達が遅れていると言われるのではないかと心配です。

A：この健診は、病気の診断や障がいを持定するものではありません。

お子さんへの理解を深め、日常の園生活等に生かすためのものです。

Q：健診後は、どのような支援を受けられるのですか？

A：健診後は、園や小学校と連携し、お子さんの成長にあった適切な支援の方法を考え、取組を進めていきます。小学校入学の際に引継ぎ支援会議を実施し、支援を引き継ぐこともできます。

また、「すずっこスクエア」は、お子さんには、集団での遊びを通して人とやりとりをする方法を学び、社会性を身につけていただく場として、保護者の方には、お子さんのことを気軽に相談できる場としてご利用いただけます。

保護者の方のご心配なことや、家庭での関わり方等の相談に応じます。

鈴鹿で子育て。これがイチ押し！

6

途切れのない支援！

子どもの発達支援の充実

「5歳児健診」

保幼→小

- ・集団生活が苦手
- ・集団へのなじみにくさがある
- ・等の子どもに対して、周囲の大人が子どもたちの姿を深く理解し、早期に子どもたちの長所や得意なことに着目し、対応します。
- 園生活を通して子どもが自信を深め、スムーズな就学につながることを目指します。

5歳児健診の実施



「すずかっ子支援ファイル」

保幼→小→中→高校等

支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、長期的な視点で一貫した支援を適切に行うことを願い作成するものです。



「すずかっ子支援ファイル」の作成と 引継ぎ支援会議の実施

健診後のフォロー



「すずっこスクエア」

保幼→小

ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた活動の実施や福祉制度の利用方法、関係施設・機関の紹介など保護者に悩み事や心配事について、臨床心理士、保健師、教員、保育士などの専門家がお子さんの特性に応じたサポートを一緒に考えます。

「引継ぎ支援会議」

保幼→小→中

お子さんを安心して小・中学校へ送り出せるよう保護者、関係機関が参加し、お子さんの様子や今まで行われてきた支援方法等の確認・引継ぎをします。

■ お問い合わせは[こちら](#)